

課題解決型プログラム

1. 科目名：リハビリテーション病院における病棟での多職種連携
(Interprofessional collaboration in ward team of rehabilitation hospital)

2. 実習の概要

摂食・嚥下を含むリハビリテーションについて回復期リハビリテーション病棟における多職種連携について理解し、チーム医療が実践できる技術力を習得する。

また、回復期リハビリテーション病院に入院する患者の健康課題を見出し、分析し、そしてその問題解決を図る技能の習得を目指す。

その結果、口腔保健活動支援を通じて、入院患者の生活の質(QOL : Quality of Life)の向上に必要な専門性の高い知識を習得する。

3. 達成目標

- ① 回復期入院患者の様々な病態・障害・経過について説明する。
- ② 回復期入院患者の摂食・嚥下状態を把握して説明する。
- ③ 回復期入院患者の食事介助についての基本的知識・手技を説明する。
- ④ 器質的口腔ケアについての基本的知識・手技を説明する。
- ⑤ 機能的口腔ケアについての基本的知識・手技を説明する。
- ⑥ 回復期入院患者のADL・口腔状況をアセスメントシートに記述する。
- ⑦ 回復期入院患者の健康課題を解釈・分析し記述する(歯科衛生診断)。
- ⑧ 回復期入院患者の歯科衛生診断をもとにケアプランを立案する。
- ⑨ 回復期病院での多職種(看護師・言語聴覚士 ST・作業療法士 OT・理学療法士 PT・栄養士・ソーシャルワーカーMSW)の役割を説明する。
- ⑩ 回復期病院でのチームアプローチの必要性を説明する。

4. 方略

- ① 実習開始および終了時における自己評価
- ② 課題(試問・レポート等)による知識評価
- ③ 実習・演習による基本技能教育
- ④ ライターによる技能・態度評価
- ⑤ 患者のケースプレゼンテーションによる評価

5. 担当教員 引地尚子、下條美穂

6. 実習の流れ（学生数：1グループ2名～3名、計8グループ）

- ① 実習日程：全4日間（基本的に木・金実習を2回）実習を行う。
- ② 実習時間：9：00～17：30
- ③ 実習期間中は毎日実習日誌を記載し指導者（下條）へ提出する。
- ④ 実習終了までに歯科衛生診断を行い計画立案する

7. 服装

- ① スーツで訪問しロッカーを借用して着替える。
- ② 上下白衣、シューズ、名札
- ③ 防寒：カーディガンは黒およびネイビーとし、サイズは大きすぎないものを着用する。
- ④ 医療人として相応しい身だしなみで臨むこと。

※白衣およびカーディガンはこまめに洗濯し清潔に保つこと。

8. 学習内容

第1日目（木曜日）

終日

- ・ 歯科衛生士の仕事の流れについて病棟見学および口腔ケア見学実習を行う。
- ・ 歯科衛生士により、担当入院患者を決定してもらう。
- ・ 歯科衛生士について、口腔ケアの見学およびリハビリの見学を行う。
- ・ 歯科衛生士および下條指導員と共にアセスメントシートに記録する。
- ・ カルテによる情報収集を行う。
- ・ 回復期入院患者の健康課題を解釈・分析し記述する（歯科衛生診断）。
- ・ 回復期入院患者の歯科衛生診断をもとにケアプランを立案する。

第2日目（金曜日）

終日

- ・ 立案したケアプランに対して歯科衛生士および下條指導員とフィードバックを行う。
- ・ 歯科衛生士について、口腔ケアの見学およびリハビリの見学を行う。
- ・ 解釈・分析および計画立案したケアプランを修正する。
- ・ 歯科衛生士および言語聴覚士を中心にフィードバックを行う（17時以降）。
必要に応じて多職種（看護師・作業療法士 OT・理学療法士 PT・栄養士・ソーシャルワーカー MSW）にも参加していただく。